

【めざす生徒像】

- ◆ 進んで勉強する生徒
- ◆ 礼儀正しい生徒
- ◆ 明るくたくましく生徒
- ◆ 感謝の心で、残さず食べる生徒



細野中だより

第14号 H26. 9. 8
 発行者 甲斐昭晃
 ☎ 23-3611

9月1日は防災の日、91年前の関東大震災にちなんで制定されました。本校でも地震を想定しての避難訓練を実施、避難の心構えと経路を確認しました。

(校長の講評より)

○ 防災の日の由来を記したプリントを1週間掲示していた。それに気づいた人は注意力がある人。たかがプリント1枚でも気づく人と気付かない人の情報収集能力は大きい。防災で必要なのは「気づき」であり「予測」である。普段から、身の回りの様子に関心を持つ態度を養ってほしい。

プリントに気づいていたのは、全校生徒で、なんと1人。確かに、写真など他の掲示物がいっぱい目立たなかったのかもしれませんが、ショックでした。

○ 今後、避難所での生活を体験することがあるかもしれない。そんな時、「お腹がすいた」とか「トイレが汚い」と、言うだけの人になるのか、炊き出しの手伝いやトイレ掃除など、避難所の運営に積極的に関わられる人になるのかは、日常生活での経験の差が大きい。気づき、予測し、働ける人に！

【関東大震災】1923年(大正12年)9月1日11時58分、神奈川県相模湾北西沖80kmを震源として発生したマグニチュード7.9の大正関東地震による地震災害。

190万人が被災、10万5千人余が死亡あるいは行方不明になったとされる。

建物の被害は全壊が10万9千余、全焼が21万2000余。東京の火災被害が中心に報じられているが、被害の中心は震源断層のある神奈川県内で、振動による建物の倒壊のほか、液状化による地盤沈下、崖崩れ、沿岸部では津波による被害が発生した。



■ 「受け止める」ということ ■ ■ ■

若者たちが夢中になっている音楽は理解不能、「到底受け入れることができない」という大人も多いことでしょう。でも、「受け入れなくても、受け止めないともったいない」とある講師が言います。



受け止めるというのは、若者が夢中になっているものに関心を示すこと。彼らの心をつかんでいる何かを、ほんの少しでも理解できれば、その心にわずかでも近づけるのでは…。そう思った講師は、AKB48の歌を聞いてみたそうです。すると、娘さんとの会話がぐんぐん増え、親子の関係がより近くなったとか。「日本一心を揺るがす新聞の社説2」(みやざき中央新聞編集長・水谷もりひと)より

先日給食の時間、にぎやかな男性ボーカルが耳に飛び込んできました。私が全く関心のないタイプの音楽です。でも、気になったので放送委員の3年生に聞きました。「湘南乃風」というグループのことを知りました。

新しい“特別支援教育支援員”です



石山先生(三松小へ異動)の後任として参りました。森永恵里(もりながえり)です。中学校での勤務は初めてですが、1日も早く環境に慣れて、子どもたちと楽しく過ごしていきたいと思っております。

趣味は体を動かすことで、特に踊ること(よさこい)とバレーボールが大好きです。心身共に澆刺(はつらつ)と、そして、緊張感と向上心は常に忘れず頑張ります。よろしくお願ひします。

支援員は、特別支援学級だけではなく、通常学級でも様々な場面でサポートをします。写真は2年生家庭科、裁縫の授業です。



再び、生活技能について考える



昨年の第8号で紹介した続編です。2年生が家庭科で玉止め、玉結び、並縫い等、慣れない手つきで裁縫の基本を学んでいました。

生活環境の変化に伴ってものづくりの機会が減り、子どもの生活(に関わる)技能の多くが低下しています。この授業も、「4時間の計画ですが、多分6時間は必要でしょう」と指導する西立野先生。その後、4時間かけてファイルカバー作りに挑戦するそうです。

技術家庭科や理科での道具や器具の取扱い、体育の水泳などは命を守るための防災教育にもつながります。ご家庭でも、道具を使う作業をどしどし体験させてください。長崎大学による調査を再度紹介します。

● したことがない(数字はその%)

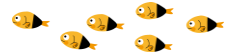
ナイフで鉛筆を削る(33)、説明書を見てのプラモデル製作(28)、りんごの皮むき(27)、鉢の植替え(13)、1人での料理体験(13)、ご飯を炊飯器で炊く(11)、土を耕す(10) 布の手縫い(9)、ボタンの縫いつけ(7)

◎ よくできる・まあまあできる(数字はその%)

雑巾を絞る(96)、荷物を上手に詰める(94) リボン結びをする(93)、卵を上手に割る(91)、靴を自分で洗う・ノートにプリントをきれいに貼る・小さな円をはさみで切り抜く(86)、鉛筆を正しく持つ・ミシンで直線縫いをする・ドライバでねじをしめる(85)、マッチで火をつける(84)、カッターを上手に使う(83)、はしを正しく持つ(82)

(平成18年、長崎市近郊の小学6年生1,267名対象)

◆ 3年生の食育体験 (9.5) ◆



保護者の安影さんの農園で体験させていただきました。ニジマスやさばき、手作りの竹串に刺し、炭火で焼いて食べるまでの活動です。さばき方や串のさし方、塩のふり方に焼き方などを教えていただき、とてもいい勉強になりました。魚にさわれないという子が意外と少なく、作業もてきぱきとしていました。

食育体験としては、2年生が調理実習(4・5日に実施)、1年生は農業体験(18日)を行います。食の大切さを理解しつつ生活技能も向上できるよう期待しています。

【お知らせ】 □ D組担任の吉田先生が、病気のためにしばらく休みます。当面は、後任の講師を探しながら、現在いる職員で対応していきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほど、よろしくお願い致します。新しい担任は野邊先生です。

□ 細野区会敬老会(15日)と細野小運動会(21日)に「ホソノソーラン隊」が参加し、小学生と一緒に踊ります。体育大会のソーラン実行委員とボランティアで組織しました。